

野地 博行

現 職： 東京大学大学院工学系研究科 教授
国立研究開発法人科学技術振興機構 革新的研究開発推進プログラム (ImPACT)
プログラムマネージャー

生年月日： 1969年 9月 8日

学 歴： 1993年 東京工業大学理学部生体機構学科卒業
1995年 東京工業大学大学院生命理工学研究科バイオサイエンス専攻 修士課程修了
1997年 東京工業大学大学院総合理工学研究科電子科学専攻 博士課程修了 博士(理学)

職 歴： 1998年 科学技術振興事業団CREST「生命活動のプログラム」チーム13 研究員
2000年 科学技術振興事業団さきがけ研究21「組織化と機能」 研究員
2001年 東京大学生産技術研究所 助教授
2005年 大阪大学産業科学研究所 教授
2010年 東京大学大学院工学系研究科 教授
2016年 国立研究開発法人科学技術振興機構 革新的研究開発推進プログラム (ImPACT)
プログラムマネージャー

専門分野： ATP合成酵素の1分子生物物理やっています。また、ATP合成酵素研究の中で開発した微小リアクタアレイ技術を用いて、デジタル計測法の社会実装や、細胞再構成などの研究も進めています。「測る」を極めながら「創る」研究を進めたいと思っています。

生物物理学会とのかかわり：

学生からの会員です。理事や副会長をさせていただいています。今回、候補として取り上げていただきとても光栄です。一方、今がそのタイミングなのか悩ましいところです。立場は何であれ、みなさんと一緒に2023年のIUPAB congressという大きなお祭りを大成功させたいです。そして、本学会がサイエンスを軸として老若男女問わず盛り上がる場となるために、いろんな「しかけ」をみなさんと進めたいです。